

ステロイド・プロトピック使用後の顔面腫脹を経て3か月半で外用不要となった成人アトピーの経過 (27歳)

症例 ID：001-20-YO | 記録日：2000年9月20日

1. 診断・治療前経過

23歳頃から冬季に皮膚症状が出るようになりましたが、自然に目立たなくなる経過を繰り返していました。結婚と転居、再就職後に顔全体、上半身へ症状が広がりました。

皮膚科でステロイド外用薬を約1か月使用し、その後はプロトピック軟膏を使用しましたが、中止すると症状が再び出る状態が続き、6月7日に松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	顔や顔の症状に弱いステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。プロトピック軟膏の使用歴もあります。
強度	弱いステロイドと説明されました。
使用期間	ステロイドは約1か月、外用薬全体では約2か月です。
中止時期	松本医院受診時に中止しました。
来院前／後	来院前に使用しました。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
23歳頃	発症	冬季に皮膚症状が出ましたが、自然に目立たなくなりました。
受診前約2か月	外用治療	ステロイドとプロトピックを使用しましたが、中止すると症状が再び出ました。
6月7日	治療開始	顔と上半身に症状がある状態で受診しました。
開始3日頃	急性悪化	顔が強く腫れ、赤みが目立つ状態となりました。
開始約2週間	症状継続	顔の赤み、眼瞼の腫れ、目やにが続きました。
開始約7週	体幹の変化	上半身の症状が目立ちにくくなりました。
開始約11週	一時的な悪化	顔の赤みが再び出ましたが、3〜4日で軽くなりました。
開始約3か月半	生活変化	顔と体の症状が大きく軽くなり、外用薬が不要となりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始から約3日後から1か月半頃まで、顔が赤く強く腫れ、眼瞼の腫れや目やにが続いた時期です。

5. 困りごと

- 顔の腫れと赤みにより外見が大きく変化しました。
- 眼瞼の腫れや目やにが続きました。
- 症状が再び強くなる時期があり、経過への不安がありました。

6. 経過のまとめ

治療開始約7週間頃から体幹の症状が目立ちにくくなり、約3か月半後には顔と体の症状が大きく軽くなりました。外用薬を使用する必要がなくなり、煎じ薬のみで仕事を続けられる状態となりました。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。